

第 6 学 年

私のおススメ重松清作品はこれです！（本を読んで推薦する）

男子 1 名、女子 4 名 計 5 名 指導者 原田圭輔

【題材観】「カレーライス」

- 父に素直に関われない主人公の「ぼく」（ひろし）が「お父さんウイーク」での関わりを通して、父に自分の成長を感じてもらうことで、だんだんと心の距離を縮めていく話。
- 児童が物語の主人公と同じ年頃であり、主人公と自分を比べて読むことができ、内面の心情や作者の伝えたいことが読み取りやすい。
- 一人称で書かれていて読みやすいが、行動や言葉から他の登場人物の心情も捉えやすい。

【児童観】

- 文章を読んで、すぐに自分の感想をまとめることができる。文章に書いてあることを素早く理解することができる。
- 自分にとっておもしろかったところや好きなところを中心にしか本の感想を書くことができない。様々な視点から感想を書くことができない。
- 問われたことに対して自分の意見をまとめることができるが、筋道の通った文章でなかったり、内容が薄かったりする児童がいる。

【この単元のつきたい力】

- 同じ作者の複数の作品を読んで、登場人物の相互関係や内面の心情、作者の伝えたいことについて、叙述を基に読む力。
- 友達との交流を通して、自分の考えを広げたり深めたりする力。

【そのために取り入れる言語活動】

- 重松清作品を読み、自分の好きな作品を見つけ、その作品についての推薦文を書き、交流し合う言語活動。

【単元の評価規準】

- 登場人物の相互関係や心情、優れた叙述について自分の考えをまとめている。〔C（エ）〕
- 本を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。〔C（オ）〕
- 「重松清作品を推薦する」という目的を持ち、複数の重松清作品を選んで比べて読んでいる。〔C（カ）〕
- 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。〔言語事項 イ（キ）〕

児童の課題克服の手立て

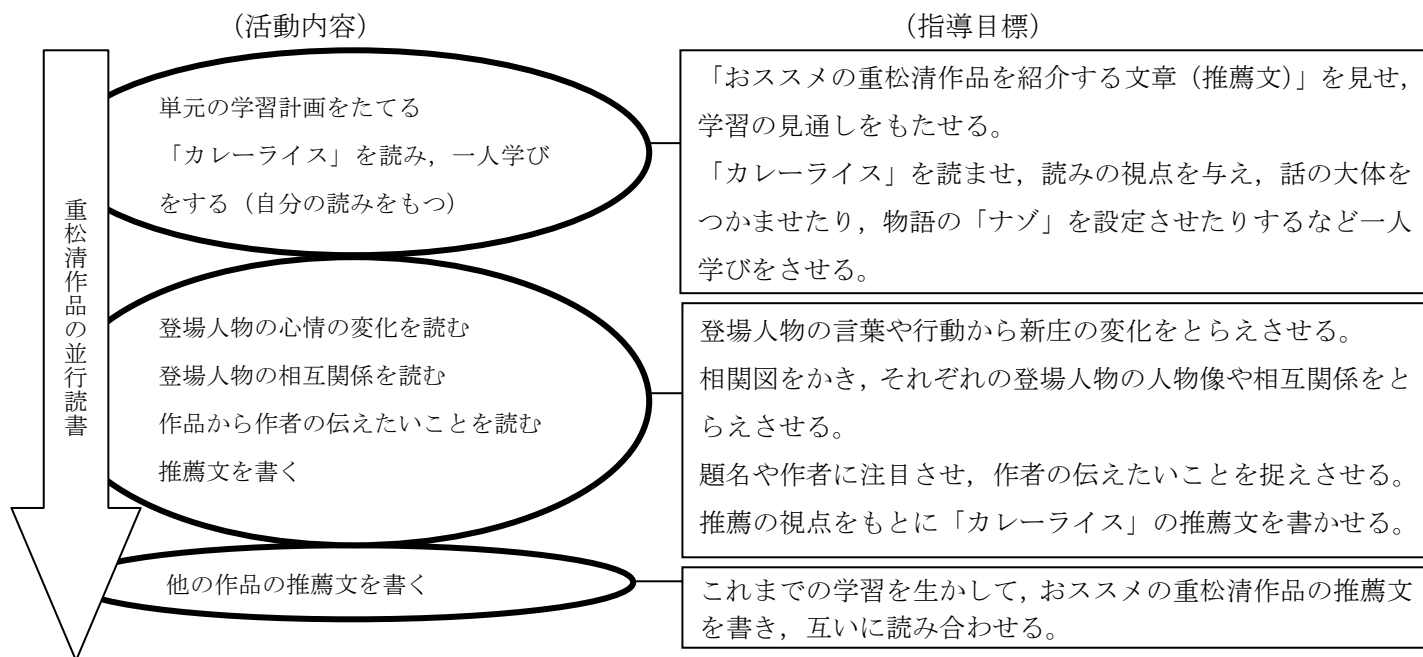
【指導観】

- 指導者のモデル作品を見せ、単元のゴールをつかませる。また、重松清作品の中で、児童にとって親しみやすい年代の主人公が出てくる本を教室に置き、休憩時間や授業時間にすぐに並行読書できるようにする。どの作品を読んだか分かるチェックシートを近くに置いておく。
- 推薦の視点を与え、その視点をもとに400字程度で推薦文を書かせる。推薦文を読み合う活動を仕組み、自分の読みや考えを深めたり、広げたりさせる。

想像を広げながら読むための手立て

- 物語の「ナゾ」を設定し、それらを解決していく中で読みを深めさせる。
- 登場人物の行動や言葉に着目させ、人物の相互関係や心情の変化を捉えさせる。
- 題名に着目させたり、作者に注目させたりすることで作者の伝えたいことを考えさせる。

【単元構成図】



【指導計画】（全8時間）

次	学習内容（時数）	評 価				
		関	読	言	評価規準	評価方法
一	○「推薦文」に興味をもち、学習課題を設定し、学習の計画をたてる。（1） ○教材文を読み、一人学びをする。（1）	◎	○		○重松清作品に興味を持ち、進んで読書をしつたりしている。 [C (カ)] ○読みの視点、登場人物の行動や言葉に着目して話の大体をつかんでいる。 物語の「ナゾ」を見つけている。	行動観察 (発言・行動) ノート 書き込み
二	○推薦の視点をもとに「カレーライス」を読む。（3） ・登場人物の心情の変化を読む。 ・登場人物の相互関係を読む。 (本時4/8) ・作者の伝えたいことを読む。 ○「カレーライス」の推薦文を書く。（1）		◎	○	○登場人物の相互関係や心情、優れた叙述について自分の考えをまとめている。 [C (エ)] ○本を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。 [C (オ)] ○文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。 [言語事項イ (キ)]	ノート 推薦文
三	○おススメの重松清作品の推薦文を書く。（1） ○推薦文を互いに読み合う。（1）	○	◎		○「重松清作品を推薦する」という目的を持ち、複数の重松清作品を選んで比べて読んでいる。 [C (カ)] ○本を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。 [C (オ)]	推薦文 感想の付箋

【本時の目標】

○ひろし、父、母の行動や言葉、心情の変化をもとに人物関係図をつくることを通して、ひろしと父の関係の変化をまとめるができる。

<言語活動>

- ・登場人物の行動や言葉、心情の変化をもとに、はじめとおわりの登場人物関係図をつくる。
- ・登場人物関係図をもとに、登場人物の関係の変化を文章にまとめる。

【 準備物 】挿絵，登場人物の絵

【本時の学習指導過程】

	学習活動	教師の発問・指示 予想される児童の反応	教師の指導・支援◎ 評価とその方法○
	1. 前時の学習を確認する。 2. 本時のめあてを確認する。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">登場人物それぞれの心情の変化を思い出しましょう。</div>	◎前時の学習内容を掲示しておく。
登場人物関係図をつくり，登場人物の関係の変化を考えよう。			
	3. 一人読みをする。 4. 登場人物関係図をノートにまとめる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">じっくり考えさせる</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; width: fit-content; margin: 20px auto;"> </div>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">はじめとおわりの登場人物関係図をノートにつくりましょう。</div>	◎読み取りに必要な個所を考えさせ，そこを一人読みさせる。 ◎登場人物の行動や言葉，心情の変化をもとに，登場人物相互の関係を考えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">しっかり教える</div>

5. それぞれの考えを発表し、質問や意見を言う。

はっきり表現させる

- ・学習リーダーが黒板にまとめる。
- ・発表者は文章を根拠に関係について考えを話す。
- ・考えについて吟味をする。

はじめの登場人物の関係をまとめましょう。

[児童の反応例]

- ひろし→お父さん
 - ・わかってくれない
 - ・素直になれない
- ひろし←お父さん
 - ・まだ子ども・仲良くなりたい
- お父さん→お母さん
 - ・悩みを打ち明けられる
- お父さん←お母さん
 - ・ひろしと仲良くなってほしい
- ひろし→お母さん
 - ・いつもお父さんの味方
- ひろし←お母さん
 - ・お父さんと仲良くなってほしい

おわりの登場人物の関係をまとめましょう。

[児童の反応]

- ひろし→お父さん
 - ・少し分かってくれた
 - ・少し素直に話せた
- ひろし←お父さん
 - ・大人になったなあ
 - ・やっと話せてうれしい

6. 登場人物の関係が変わったきっかけや出来事をとらえる。

どうして、はじめとおわりでひろしとお父さんの関係が変わったのでしょうか。

- ・いっしょにカレーライスを作ったから。
- ・ひろしが「中辛」を食べるようになっていたことにお父さんが気付いたから。
- ・お父さんがひろしの成長を実感し、ひろしを理解しようとしたから。

◎発表を聞きながらノートにまとめさせる。

◎それぞれの考えが適切かどうかよく吟味させる。

◎登場人物関係図をつくることのよさについてまとめる。

人物関係図をつくることで、それぞれの登場人物の見方や思いを理解することができ、はじめとおわりの関係図をつくることで関係の変化も理解することができる。

<p>7. 題名の意味について考える。</p>	<p>題名が「カレーライス」ですが、ひろしとお父さんにとって「カレーライス」はどんなものと言えますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・互いをつなぐきっかけ。 ・互いを分かり合わせたもの。 ・ひろしの成長を実感できるもの。 	<p>◎題名は作品の重要な言葉になることが多いことに気付かせる。</p> <p>(例) お手紙 (もの) 初雪の降る日 (いつ) 大造じいさんとがん (人物) なまえつけてよ (会話)</p>
<p>8. まとめをノートに書く。 (150~200字でまとめる)</p> <p style="text-align: center;">↑ ↓</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">じっくり考えさせる</div> <p>9. ふりかえりをノートに書く。</p> <p>10. 次の時の学習について知る。</p>	<p>ひろしとお父さんの関係の変化について、文章でまとめましょう。</p> <p>はじめ、ひろしとお父さんは…だった。しかし、～によって、さいごには、 - - -。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">次の時間は、作者がこの作品を通して伝えなかったことについて考えましょう。</div>	<p>○登場人物相互の関係について、はじめとおわりの関係の違いを理解し、それを文章でまとめている。(ノート)</p> <p>◎ノートに本時の学習のふりかえりを書かせる。</p>

【板書計画】

人物関係図

カレーライス

つなぐきっかけ
分かり合わせる
成長の実感

めあて
 カレーライス
 登場人物関係図をつくり、登場人物の関係の変化について考えよう。
 重松清

はじめ・おわり
 それぞれの見方、思いが分かる。
 関係の変化

- ・一緒にカレーライスを作った。
- ・ひろし「中辛」を食べる。
- ・父 ひろしの成長を実感。